

**2016 春季生活闘争
第1回中央闘争委員会 確認事項**

連合は本日、2016 春季生活闘争の第1回中央闘争委員会を開催し、2016 春季生活闘争の今後の進め方について協議し、次の確認を行った。

I. 最近の特徴的な動き

1. 至近の経済情勢について

政府が12月8日発表した2015年7-9月期の四半期別GDP速報（2次速報値）によれば、実質GDP成長率が前期比0.3%増、年率換算で1.0%増となった。1次速報からはプラスに転じているが、内訳をみると、在庫投資が予想以上の上方修正となったことが寄与しており、個人消費は小幅に下方修正されている。

アメリカ連邦準備制度理事会（FRB）は12月16日、事実上のゼロ金利政策を7年ぶりに解除し、政策金利を0.25%引き上げると発表した。引き上げ後も緩和的な金融政策を維持し、労働市場のさらなる改善と物価上昇率2%達成を支えるとしている。このことによる影響の有無については、冷静に見極めていくこととする。

2. 「新3本の矢」をはじめとする政府の経済政策について

政府は、第189回通常国会終了した9月以降、「一億総活躍国民会議」「未来投資に向けた官民対話」、従来からの「経済財政諮問会議」も併せ、アベノミクスの第2ステージ「一億総活躍プラン」のために「新3本の矢」として「GDP600兆円」「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」の目標を設定し、11月26日、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」をまとめた。

これに対して連合は、11月27日に事務局長談話を、12月3日には「「新3本の矢」をはじめとする政府の経済政策に対する連合の見解」を公表し、労働者の代表を外した場での議論であり、政策の内容も不十分なものであるとした。

II. 当面の闘い方

1. 構成組織における2016闘争体制の確立に向けて

構成組織は、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じて日本経済の「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」をはかる。とりわけあらゆる手段を用いてそれぞれの産業全体の「底上げ・底支え」「格差是正」に寄与する取り組みを展開するという内容に沿って、それぞれ闘争方針と闘争体制の確立をはかる。

2. 共闘連絡会議の開催

部門別共闘連絡会議は適宜、第1回書記長・事務局長会議を開催する。参加構成組織の要求内容を把握し、より主体的な闘争を進めるために、情報交換および情報開示を進めていく。「中核組合」「先行組合」「中堅・中小組合」の確認を早期

(1 月中)に行い、「中核組合の賃金カーブ維持分・賃金水準」および「代表銘柄・中堅銘柄」の早期開示をはかる。

3. 「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組み

2016 春季生活闘争において実現をめざす重要な目標である様々な格差（企業規模間、正規・非正規間・男女間など）の是正をめざし実効性ある取り組みを行うための準備を進めていく。構成組織においては、最低到達水準を確保する点検を行う。地方連合会は、連合リビングウェイジに基づく最低到達水準、および地域ミニマム運動に基づく地域の職種別賃金相場を広く開示し、地場の賃金相場の社会的波及を進める。

4. 職場点検活動の実施

単組は職場点検活動を行い、法律・労働協約の遵守や安全問題への対応を徹底させ、公正なワークルールの確立をめざす。また、2016 春季生活闘争方針を踏まえ、長時間労働の撲滅に向け年次有給休暇の取得促進や支部単位での労使コミュニケーションの強化などに取り組むこととする。

5. 社会対話の促進

連合本部は経済同友会（12 月 11 日）や経団連（1 月下旬予定）とのトップ懇談会等経済団体との協議を通じて労働側の主張を明確にしていくとともに、「クラシノソコアグ応援団！ 2016 RENGOKYキャンペーン」と連動し広く社会に向けてアピールする。

地方連合会は、開かれた春季生活闘争や地域活性化に向けたフォーラムを開催するべく、実施に向けた諸調整を促進する。

6. 組織拡大の取り組み

構成組織は春季生活闘争の中で、パート・有期契約労働者など企業内未組織労働者の組織化と子会社・関連会社などでの集团的労使関係の構築に取り組む。

7. 2 月末までの要求提出と回答引き出しに向けた交渉配置

構成組織・単組は 2 月末までに要求を提出し、3 月末決着に向けた交渉配置を行う。

2016 春季生活闘争におけるヤマ場の設定は以下の通りとする

第 1 先行組合回答ゾーン 3 月 14 日～18 日（最大のヤマ場：3 月 16 日）

第 2 先行組合回答ゾーン 3 月 22 日～25 日

具体的な戦略・戦術については、交渉状況等を踏まえ、別途確認する。

Ⅲ. 当面の日程

1. 機関会議

2015 年 12 月 17 日	第 1 回中央闘争委員会（第 3 回中央執行委員会後） 共闘連絡会議第 1 回全体代表者会議
2016 年 1 月 19 日	第 2 回戦術委員会（第 6 回三役会後）
21 日	第 2 回中央闘争委員会（第 4 回中央執行委員会後）

1月 22日	交通・運輸共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議
25日	流通・サービス・金融共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議
26日	インフラ・公益共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議
27日	化学・食品・製造等共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議
2月 17日	金属共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議
2月中・下旬	各共闘連絡会議第2回書記長・事務局長会議

2. 諸行動

2016年 1月 7日	「2016連合白書」学習会
1月下旬	連合・経団連定期協議
2月 5日	2016春季生活闘争 闘争開始宣言2・5中央総決起集会
2月 4～6日	「ゆるさない！ワークルール無視！！パート・アルバイト・契約・派遣などで働く人のための連合労働相談ホットライン」（電話相談）

以 上